

堂谷津の里 自然だより

2025年 8月

7.5 親子体験かし

2025. 8. 10

セミの声が谷津に響き、トンボやバッタが飛び交う里山の夏。彩りのない雑木林で妖しい雰囲気朱色の花「キツネノカミソリ」が咲いています。「立秋」は過ぎましたが熱帯夜でへとへとになる日が続いています。不思議なものでお盆を過ぎると朝晩の暑さの和らぎを何となく感じることができると期待しています。

芳香なクサギの花
クロアゲハが蜜を吸
いにやってきます。



クサギ



ヒメキンミズヒキ



ミズタマソウ



ダイコンソウ



クロアゲハ

真夏の
生きものたち



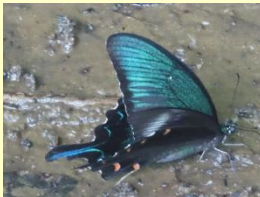
ミソハギ



イガホオズキ



センニンソウ



カラスアゲハ



タマムシ



アキノタムラソウ



コバギボウシ



キツネノカミソリ



コバネイナゴ



オンブバッタ



クサネム



ゲンショウコ



カラスウリ

<季節メモ> 最大・最強のトンボ オニヤンマ

里山を我が物顔で飛翔するオニヤンマは、黄色い縞模様と鮮やかな緑色の複眼をもつ日本最大・最強のトンボです。体長 10cm 以上、飛行速度は時速 70km 以上とも言われ、4 枚の翅（はね）を巧みに使って急発進や急停止、バック、ホバリングなどを行うことができます。この高速で飛びながら、獲物を見つけるとトゲのついた6本の足をカゴのようにしてキャッチ、虫を捕まえます。さらに、視覚能力も高く、大きな複眼 2 つ、単眼 3 つを持ち、視野は 270° ともいわれ動体視力も抜群です。ハエ、蚊、アブ、スズメバチ等は捕食されることを恐れ、その姿があるだけで本能的に近寄らなくなるそうです。

成長すると流れに沿って移動し、オスは一定の区域をメスを求めて往復飛行します。飛行中に他のオスと出会うと激しく争うことがあり、オス同士の縄張り争いとされていましたが最近では、オスは羽ばたくものすべてをメスと見なし、メスと間違えて追いかけていることがわかりました。

オニヤンマは成虫になるまで 3~5 年、幼虫の状態越冬しながら 10 回ほど脱皮を繰り返し、成虫になってからの寿命はわずか 1~3 か月です。

この時期、勇壮なオニヤンマとの遭遇は里山の楽しみの一つです。写真・編集：晝間

